

平成30年度 飯塚市立小中一貫校 穎田校 9年間活動プラン

学力向上部 か

目 標	基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それを活用する力をもった子どもの育成(学力テスト全国・県平均)		
期	前期(1年～4年)	中期(5年～7年)	後期(8年～9年)
各期の目標	○ 基礎的・基本的な学習内容の取得に取り組むことができる。 ○ 学校と家庭の連携による指導の下、宿題などの家庭学習に取り組むことができる。	○ 学習でつまづいた内容に対して、克服するためのスキルを習得することができる。 ○ 宿題などの家庭学習に主体的に取り組むことができる。	○ 自ら課題を見つけ、その克服に向け自ら家庭学習に取り組むことができる。
取り組み方針	○ 徹底反復学習をすすめ、基本的・基礎的な学力を習得させるとともに、活用力を育成する学習活動づくり(つまづきを的確に把握した補充学習・アクティブラーニングの実施・ICTの活用) ○ 自ら学習に取り組む習慣づくり(基本的な生活習慣の習得・家庭学習(予習・復習)の充実・家読の奨励) ○ 検証改善サイクルによる授業改善(CAP-DO)の実施 ○ 思考力・判断力・表現力を育成するために、主題研修(知識構成型ジグソー法)に取り組む。		
各期の取組	朝学習の実施		
	家庭学習プリント	自学ノートの取り組み	
	チャレンジタイム	ブラッシュアップタイム	定期考査の取り組み スパイラルタイム・パスポート問題
	知識構成型ジグソー法		

豊かな心育成部 い

目 標	自らを律しつつ、心豊かに、高い自尊感情をもった子どもの育成		
期	前期(1年～4年)	中期(5年～7年)	後期(8年～9年)
各期の目標	○話をせずに時間いっぱい掃除をすることができる。	○下級生の手本となれるように時間いっぱい、隅々まで掃除ができる。	○「自分たちの環境は自分たちで美しくするという意識をもち、自らすすんで掃除ができる。
取り組み方針	○9年間の連続した人権教育の推進(自他を大切に、人権感覚を身につけた子ども*あおぞら・かがやき・SEL8-Sの活用) ○清掃活動の充実(きれいな学校) ○自尊感情を高め、主体的に自信を持って活動させる道徳教育 ○基本的な生活習慣づくり		
各期の取組	サイレント掃除の取り組み		
	毎日の返りの会、清掃時間の振り返り。	中期縦割り清掃	地域美化活動(学期に1回)
	「おやこでぐんぐん」の取り組み		グローイングアップシート

健やかな体育部 た

目 標	健全な精神とたくましく生きる体力が身についた子どもの育成		
期	前期(1年～4年)	中期(5年～7年)	後期(8年～9年)
各期の目標	○体を動かすことを楽しむことができる。 ○栄養のバランスと自分に適した分量に気をつけて食事をする態度を育てる。	○基礎体力の土台をつくる ○自ら、栄養のバランスと自分の体に合った分量を考えて食事をする態度を育てる。	○基礎体力を高める ○自己の食生活の管理・改善していく資質・能力の基盤を育成する。
取り組み方針	○小中連続した体力向上の取組の充実(5分間サーキットトレーニング・体育的活動・部活動の充実) ○食育の充実(子どもの育成・家庭への働きかけ、残菜0を目指す)		
各期の取組	体育の時間における「かいたサーキット」の実施		
	給食オリエンテーション(準備・調理・調理員さんの紹介)		
	給食完食の取り組み		
	残菜調査		
	給食感謝週間の取り組み		

夢開拓部(かいた9)

目 標	本物・未来志向で夢に向かって自己実現のできる子どもの育成		
期	前期(1年～4年)	中期(5年～7年)	後期(8年～9年)
各期の目標	○元気に、相手の目を見てあいさつができる。 ○学級での役割を自覚し、与えられた仕事をすすんで行うことができる。	○自分から元気に、相手の目を見て立ち止まってあいさつができる。 ○グローバルな視野をもち、職業について知るとともに働くことの意味について理解を深める。	○TPOや相手を意識し、明るく相手の目を見てあいさつができる。 ○グローバルな視野をもち、社会的・職業的に自立するための資質能力の育成。
取り組み方針	○児童会・生徒会連携による取り組みを進める ○9年間の系統性を持ったキャリア教育の実施 ○本物・未来志向のある教育実践(本物・未来志向の体験学習の実施)		
各期の取組	各期に応じた体験活動(あいさつ いっぱい運動・かいた9遠足・ランチルーム交流など)		
	○学校体験・校区体験・自分の町を知る	○二分の一人式	○異文化理解学習 ○職場聞き取り学習

○異文化理解学習  
○職場体験学習・GTを招いての聞き取り学習

